

ケーブルチューナーの評価(5) —スピーカーケーブルへの適用(2)—

1. 始めに

前報(4)に引き続き、ケーブルチューナーの試聴を行います。

2. ケーブルチューナーの試聴方法

前報(4)に引き続き、ケーブルチューナーをスピーカーケーブルに適用してみます。

対象は、FAL C90EXW へのスピーカーケーブルです。

しなの音蔵 300B シングルアンプから FAL C90EXW へのスピーカーケーブルの配線は前報(4)のようにバイワイアリングになっています。

すなわち、FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバーユニットにバイワイアリングされており、ハイルドライバーユニットとスーパーツイーターの SOPRANINO、ES-103A および ES-105 が平行に接続されています。

今回は、ムジカライザーから平面ユニットへのムジカライザー付属ケーブルに適用してみました。



3. ケーブルチューナーの試聴結果

ケーブルチューナーをムジカライザーから平面ユニットへのムジカライザー付属ケーブルに装着しますと、中低域の押出が強く、音に厚みが増します。その一方で、高域とのバランスが崩れ、音の明晰さが後退します。

前報(4)の結果と合わせて考えると、このような部分的な配線へのケーブルチューナ

一の装着は、その帯域が目立ってきますが、場合によってはバランスを崩しますので、バランスを崩さないよう、全体的に複数のケーブルチューナーを使用する必要があります。

4. まとめ

ケーブルチューナーをムジカライザーから平面ユニットへのムジカライザー付属ケーブルに装着しますと、受け持つ帯域は強くで、音に厚みが増しますが、その一方で、音の明晰さが後退します。

以上